

第118回経営協議会議事要録

日時 令和5年5月26日（金）13時30分～14時50分

会場 大学本部棟5階 第1会議室

出席者（委員）

長田・進藤・山本・山中・窪田・野田・齊藤 各委員
中村学長、黒澤・奥田・茅・片田・市川・木内 各理事

（列席者）

小林理事、齋藤・八巻 各監事、岩崎副学長、白沢相談役、
志村・種田・窪田・深澤・小谷・石原 各部長、中村・植村・望月・雨宮 各課長

会議に先立ち、植村総務課長から本会構成員等の紹介があった。

また、中村学長から、本会議の役割等について説明があり、活発な議論を通じ、本会議をより良いものとしていきたいので、協力願いたい旨の依頼があった。

議事要録確認

第117回（5.3.24開催）の経営協議会議事要録を確認した。

審議事項

1 就業規則の一部改正（案）について

片田理事から、資料1により、時間外手術手当及び医師RRT（ラピッド・レスポンス・チーム）手当の新設並びに公認心理師及び臨床心理士を医療職員として採用できるよう制度変更を行うため、就業規則の一部を改正することについて説明があり、審議の結果、これを承認した。

（主な意見）

- ・医療従事者の処遇改善は重要なことだと考える。今後も推進してほしい。

2 学長選考・監察会議学外委員の選出（案）について

片田理事から、資料2により、標記委員（6名）の選出について説明があり、審議の結果、これを承認した。

（主な意見）

- ・大学に関して広く高い見識を有する方が選出されていると考える。

3 教育学部附属学校（幼稚園、小学校、中学校）の入学定員変更（案）について

黒澤理事から、資料3により、附属学校を取り巻く環境変化への対応やきめ細かな指導体制の整備等を目的として、令和6年度から附属幼稚園、小学校及び中学校の入学定員を変更（減員）することについて説明があり、審議の結果、これを承認した。

4 令和6年度施設整備費等概算要求（案）について

市川理事から、資料4により、標記概算要求事業を選定したこと及び要求順位については学長一任としてほしいことについて説明があり、審議の結果、これを承認した。

（主な意見）

- ・特に、附属病院の外来機能の強化について、リニア中央新幹線の開業を見越して需要が増えることが想定されるため、良い取り組みであると考え。

報告事項

1 「地域中核・特色ある研究大学の連携による産学官連携・共同研究の施設整備事業」の採択及び今後の対応について

市川理事から、資料5により、文部科学省が公募した標記施設整備事業に2件が採択されたことについて報告があり、関連して、今後「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業」に申請予定である旨の説明があった。

（主な意見）

- ・本事業の対応を図っていくため、国立大学に配分される予算の全体的な構造などの関連資料を今後準備していただきたい。

2 第3期中期目標期間終了時評価結果について

黒澤理事から、資料6により、国立大学法人評価委員会及び大学改革支援・学位授与機構から通知された標記評価結果について報告があった。

3 教職大学院認証評価結果について

黒澤理事から、資料7により、教員養成評価機構から通知された標記評価結果について報告があった。

（主な意見）

- ・教職大学院を教員養成のシステムとして成功させるにあたっては、地域との連携が重要なポイントである。山梨大学の取組みは明るい未来を示すと言えるものであり、今後も期待している。

4 令和4年度資金運用実績について

市川理事から、資料8により、前年度の資金運用の実績について報告があり、引き続き、情報収集を行い、更なる運用益を確保するよう方策を検討していきたい旨の説明があった。

その他

1 令和5年度経営協議会開催予定について

中村学長から、9月以降の会議日程については見直すこととしたいため、改めて事務担当からメールにて依頼予定である旨の発言があった。

次回会議 令和5年6月23日（金）13時30分から開催することを確認した。

学外委員からの意見・質問

審議事項

1 就業規則の一部改正（案）について

（吉岡委員）※欠席委員から事前に頂いた意見

医師の処遇改善（手当の新設）を図ることは、賛成である。一方で、大学病院の医師の処遇改善を行うことにより、地域の関連病院等への医師の派遣が滞ることなどが心配される。引き続き、地域医療への貢献に大きく寄与されるよう、県民としてお願いしたい。

（片田理事）

地域医療機関に影響が及ばないよう対応し、従前以上に地域に貢献していきたい。

（木内理事）

地域医療には今後も貢献していく。なお、新設される手当は、診療報酬加算を財源としているが、当該手術を行う医師は前後の当直を避ける（4回を超えない）ことが加算の条件となっている。これらに留意しつつ対応していきたい。

（山本委員）

医師の働き方改革の一連の流れの中で、山梨大学における処遇改善の取組みの状況はどのようなものがあるか。

（片田理事）

今年度中に超過勤務削減、勤務体制の見直しを行う予定であり、これらの取組みを通じ、大学病院としての機能を落とさないよう対応していきたい。

（山本委員）

1 大学だけでできることばかりではないため、創意工夫のうえ、ぜひ頑張ってもらいたい。

（野田委員）

時間外手術手当は、研修医またはコメディカルに対しても適用されるのか。

（木内理事）

研修医等に対しては、従前から超過勤務手当を支給している。なお、今回新設する手当は、手術医と第一助手のみに適用されるものである。

3 教育学部附属学校（幼稚園、小学校、中学校）の入学定員変更（案）について

（長田委員）

入学定員変更後の評価・検証はどのように行う予定か。

（中村学長）

保護者、現場の教員からアンケートで意見を募るなど、データ収集を行い、それを基に今後検証を行うこととしている。

(長田委員)

フルタイムや共働きで働く家庭も多い中、学童保育等へのニーズの高まりに対しては、どのような考えか。

(中村学長)

甲府市の協力を得ながら学童保育等を実施している。附属学校での取り組みについては、今後検討を進める。

(窪田委員)

ニーズの高まりに対して場所（施設）の確保の課題はあるが、できる限り協力していきたい。

(進藤委員)

国立の附属学校と公立学校の違い（機能・入学者選抜方法）は何か。

(中村学長)

附属学校は、教育実習の学生受入れや教員の教育実践研究を積極的に行うなど、モデル校としての機能を有している。また、選抜試験を実施している。

(山本委員)

山梨県においては小学校低学年で25人学級を導入しており、かねてより注目しているが、今回30人学級とする附属小学校においても将来的に25人学級を導入するのか。

(中村学長)

一度に大幅な減員を行うことはできないため、今回は30人学級と設定したところであり、25人学級に移行ができるかは、今後検討していく。

(山本委員)

附属学校の改革では他大学でも苦勞しており難しい課題だと思われるが、頑張ってもらいたい。

4 令和6年度施設整備費等概算要求（案）について

(山本委員)

要求項目については、文部科学省との事前協議により、採択の見込みがあるものを選定しているのか。

(市川理事)

校舎改修IIIについては、3ヶ年の年次計画事業で昨年度までS評価を得ている、また、ライフライン再生についても昨年度S評価を得たものの採択に至らなかったため、今回採択になる見込みがあると考えている。

(片田理事)

昨年度AまたはB評価だった事業については、評価が高くなるよう工夫していく。また、資材高騰の影響により、文部科学省の試算と実際の調達額が大きく乖離することが想定されるため、協議の際には留意していきたい。

(長田委員)

附属病院外来機能強化棟のキャパシティについて伺いたい。

(木内理事)

1日あたり約1,500人の来院患者対応が可能な設計としている。

報告事項

1 「地域中核・特色ある研究大学の連携による産学官連携・共同研究の施設整備事業」の採択及び今後の対応について

(山本委員)

国際卓越研究大学の研究及び研究成果の活用のための体制の強化に関する法律案に対する附帯決議とされるなど、本事業は高い位置付けにある。一方で、地方の大学への支援については、これまでの予算の組み直し(寄せ集め)に過ぎないという側面もあり、国立大学に配分される予算の全体的な構造について、学内でも理解を深めなければならない。ついては、関連する資料を今後準備していただきたい。

(片田理事)

御意見を踏まえ鋭意対応していく。

その他

(山中委員)

大学運営を野球に例えて話をする。「プレイヤーファースト」の考えは、大学においても同様(学生ファースト)であり、絶対崩してはいけないと承知している。品位・知性・技術を高め、それに向けた取組みを継続することが大事であるとする。

(中村学長)

御意見のとおりである。学生、教職員、地域と連携し、山梨大学の質を高めていきたい。

(山本委員)

経営協議会は大学の最も身近な他者として大学を深く理解し、学外に発信する極めて重要な役割があると考える。学長には本会を通じ、我々学外委員にそういった働きかけをしてほしい。

(中村学長)

御意見を踏まえ対応していく。